百戦錬磨の山路氏は「復縁率70%」らしい

ヒビ割れした男女関係を修復する「別れさせない屋」の中身

タレントの大桃美代子（49）と離婚した山路徹（52）が復縁を願ってメールを送っているらしい。本人いわく、「復縁率は70%」なんだとか。

女性の扱いに慣れた山路さんには必要ないだろうが、細々と続いている男女関係を修復したい人にとって耳寄りのサービスが、「別れさせない屋」（☎03・3546・2132）だ。男性に女性の口説き方を教える「ナンパ塾」を主宰する草加大介氏が始めた新事業だ。

山路徹氏

「依頼は、男女関係を修復したい30～40代がメーンですが、『両親の熟年離婚をやめさせてほしい』『嫁が息子と別れたがっている。何とかしてくれ』といった相談もあります。離婚が手軽になったからこそ、関係修復を考える人も増えているようです」（草加氏）

料金は10万8000円～

公務員のAさん（50）は老後もひとりでは寂しいと、2年前に結婚相談所へ。そこで出会った女性（38）と今年3月に結婚する段取りだった。ところが、式の2週前のデートの帰りに突然、婚約解消を告げられ、わけがわからず相談した。

「相談者に話を聞くと、2人とも交際経験が乏しく、女性はほぼ初めてでした。男性の愛情は変わらず強かったのですが、そんなわけで冷静に対応できず、私が間に入って彼女と1対1で話を聞く席を持ったのです」

つまり、「別れさせない屋」の役割は第三者的な立場で助言を行うことだ。彼女も彼が好きなのだが、周りの声で一回り年上の相手との結婚をためらうように。そこにマリッジブルーが重なって、自分の気持ちを消化しきれず、突拍子もない行動に出たようだ。彼女がすべてを吐き出すように、洗いざらい語らせるのがコツだという。

「彼女は会計士でした。彼よりも稼ぎがあり、たとえ婚約解消しても生活できる自信がためらいにつながったのでしょう。でも、ひとりで生活できても、結婚と出産は別。どちらも40歳が壁ですが、特に女性にとって40歳を越えての出産は厳しい。この女性は出産願望があったので、その2つを説明しつつ、婚約解消による社会的ダメージを補足しました。ドタキャンしたら招待客はもちろん、自分にも悪影響が及ぶことに触れたのです。ステータスがある女性は、迷惑に敏感ですから」

説得は2時間で完了。翌日は3人で話し合い、無事に結婚式を迎えた。

関西在住のB子さん（29）は、帰宅が遅い夫（41）の浮気を疑って相談に。草加氏は出張できず、夫に電話で対応した。

「身分を明かして丁寧に奥さんの疑いを説明すると、きちんと話を聞いてもらえました。夫は大手メーカーの部長。うつ病歴のある彼女が疑心暗鬼になりやすい性格を知った上で結婚した。帰宅が遅いのは残業のせいで、電話口ながらウソとは思えませんでした。夫婦一緒での通院を提案すると、納得した。その後、彼女から『私の誤解でした』と電話がありました」

料金は10万8000円～。B子さんみたいに電話で済んだら一部返金。ストーカーまがいの相談は無理だが、真剣に関係修復を願っている人は試してみる価値アリだ。